



## ＜加納・マリア・アレハンドラ＞

国、地域：アルゼンチン・ブエノスアイレス  
年 齢：48歳  
現 職：日本食料理店「Ichisou」  
オーナー兼料理人  
日本食普及の親善大使

### ○アルゼンチン全土にわたる日本食・食文化の普及拡大

- ・ 2003年 「Ichisou」 料理人 (2009年よりオーナー)
- ・ 2019年 日本食レストラン組合  
「Gastro Japo (ガストロ・ハポ)」 副会長
- ・ 2021年 「Gastro Japo」 会長 (2023年2月まで)
- ・ 2022年 日本食普及の親善大使に就任

同氏の両親が1997年に設立した日本食レストラン「Ichisou」において、2003年から料理人として活躍。2009年からはオーナーも務めている。「Ichisou」は当地において本格的な日本料理を提供する数少ないレストランの一つで、アルゼンチン人のほか当地の日系企業関係者、アジア人コミュニティの人々がよく訪れる。

加納氏は「SUSHI WOMAN」として当地二大紙「クラリン」、「ラ・ナシオン」等各種メディアに取り上げられるなど、首都ブエノスアイレス市を中心に当地で知られた日本食料理人の一人。また、2019年10月に現地日本食レストラン関係者による非営利団体「Gastro Japo(ガストロ・ハポ)」を創立して副会長に就任し、2021年9月から2023年2月までは会長として様々な日本食普及のための活動を実施。

また2019年から毎年、ブエノスアイレス市内において国内の50を超える日本食レストランが参加する日本食普及イベント「Gastro Japo Food Week」を現地経済省農牧漁業部局、市政府等の協力を得て実施。ストリートフード、和菓子、弁当、カレーなど毎年テーマを決め、日本食及び日本文化を紹介するなど、日本食・食文化の普及に大きく貢献している。